

緊急小口資金特例貸付借入申込書

令和4年4月1日以降

に使用する様式です

社会福祉法人
愛知県社会福祉協議会 会長 殿

申込みに当たり、下記9項目に同意し、生活福祉資金の借入れを申請いたします。

- 記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で**第三者に提供すること**に同意します。
- 貴社会福祉協議会が、貸付に必要な範囲で、**関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受け**ます。
- 私は現在、生活保護を受給していません。
- 私は、**1つでも該当しないものがあれば、**借入できません。
- 本貸付の対象とはなりません。
- 私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。
- 私及び私の世帯の者は、**暴力団員ではありません。**
- 私は、貴協議会が必要に応じ官公署から私又は世帯の者に、**暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律**（平成5年法律第77号）第2条第2号に定める「暴力団の構成員（その団体の構成団体の構成員を含む。）が集団的に又は常態的に暴力団の活動を行うことを目的として、暴力団の活動を行うことを企及し、又は企及しようとする者」を指します。）
- 貸付審査の結果、貸付不承認となった場合、理由は開示されないことに同意します。

下記に該当する世帯員がいる場合は、「特記事項」のいずれかに「○」を付してください。
 ア 世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者等がいるとき。
 イ 世帯員に要介護者がいるとき。
 ウ 世帯員にウ又はエの子の世話をを行うことが必要となった労働者がいるとき。
 エ 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、臨時休業した学校等に通う子。
 オ 風邪症状など新型コロナウイルスに感染したおそれのある、小学校等に通う子。
 カ 世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に要する費用が不足するとき。

●太枠内を黒ボールペンで記入してください。
 ●訂正は二重線(〇〇)を引き余白に記入

上記9項目に相違ありません 氏名 **厚旁 一郎**

※太枠内をご記入ください。

記入年月日 令和 4年 4月 27日 受付番号

申込金額 **20 万円** 据置期間 令和5年12月末まで 償還期間 **ア** 24か月 償還方法 月賦 一括

希望金額を記入ください。

希望がない場合は、月賦をチェックしてください。

会社員の方は勤務先名称・住所、個人事業主の方は職業・住所を記入ください。

氏名	続柄	年齢	生年月日	勤務先・学校名	特記事項(感染罹患者、要介護者、学校休校等)
本人	本人		(凡例) 大正=T、昭和=S、平成=H、令和=R		ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
厚旁 桃子	夫・妻・子・父・母・その他	40	T・S・H・R 54年 5月 23日	パート勤務	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
厚旁 ころこ	夫・妻・子・父・母・その他	11	T・S・H・R 20年 3月 2日	★★小学校	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
厚旁 はな	夫・妻・子・父・母・その他	9	T・S・H・R 22年 3月 19日	★★小学校	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
その他 2名					

口座振込の場合 金融機関 **ひふみ 銀行** 支店名 **東支 支店** 預金種別 普通 当座

借入理由 ※感染拡大等による影響の内容を記入 新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減り 今後10万円を超える資金需要があるため

本特例貸付の利用実績: ア.今回初めて借りる場合 イ.以前借りており、残りの額を改めて借りる場合

本特例貸付を初めて借りる場合は「ア」に、上限額以内で一度借りており、残りの額を改めて借りる場合は「イ」にを記入ください。

在留期間が1年以内の方で、在留期間延長の予定がある場合は、を記入ください。